

地域のボランティアスクール

ふれあい

横浜みどりの学校ひまわり

2020年8月号 No.42

こんな学校があってもいいかも

(既存の教育にとられない学校)

ひまわりは、さつきが丘小学校の元校長が開設した全員が手弁当のボランティアスクール(私塾)です。「公立学校で苦戦する子どもたちを公立学校ではできない手法で支援する」「地域の子どもは地域で育てる」「金のかからない教育の実践」などを掲げて、9年前に開設されました。

子どもの心を理解する

校長 渡辺 正彦

最近、本校を訪ねて来る子どもに音や他人の行動に対して異常なほど過敏な子どもが増えております。HSC(ハイリー・センシティブ・チャイルド)と呼ばれる子ども達です。

不登校の原因は多様ですが、不登校の子どもの中にHSCが見られます。HSCの子どもが不登校になるのは、学校の騒音や人間関係から生じるストレスの他に、学校という空間における拘束があるようです。

罪を犯した者に対する罰として、施設(刑務所等)に収容して人間としての自由に一定の拘束をかける制度があるように、人間として自由を奪われたり規制されることは最大の苦痛です。その一方で自由を獲得した後の自由の使い方も大変に難しいものがあります。(エーリッヒ、フロム著「自由からの逃走」)

HSCの子どもは、より繊細であり、より過敏です。45分、50分という授業の中での拘束中に不安を訴える子どももおります。友達が教師に叱責されている姿を見てやがて自分も同様の場面に立たされたらと不安を抱く子どももおります。一方でその卓越した感性はやがて社会をリードするであろう子どももおります。不登校ながら超難関中学に合格した子ども、年長園児で将棋に卓越した能力を発揮する子など。

既存の学校教育では対応が困難なHSCの子ども達を公立学校では出来ない教育手法で試みる元公立小学校校長の本校の校長自身もHSC、ADHD(注意欠陥・多動性)なのでしょう。

8月のひまわり



コロナ対策：修繕プロのMさん作の透明な仕切りをゲームコーナーに設置。子供達の手洗い・消毒に加え、日々のポウさんによる室内の消毒も徹底しています。



そうめん大会：感染予防のため食事は控えていますが、この日は特別！フードバンク寄贈のそうめんを校長先生がふるまってくださいました。「また明日からがんばるぞ！」



猛暑の中汗を流し世話をした無農薬野菜。栄養たっぷりです！毎週月～土ひまわり校舎で販売中です。



昨年孵卵器で誕生した烏骨鶏のおとみちゃんが、今年産まれたヒナ達と仲良く暮らしています。

Volunteers Vol. 1

ひまわりでは、様々な分野でご活躍中の専門職の先生方が支援をしてくださっています。

今回は、公認心理師の千賀先生から、子育てに奮闘する全ての皆さんへメッセージを頂きました。

コロナ禍でも変わらないこと

コロナ禍が収まる気配がみえません。どんなストレスや葛藤のなかにあっても、自分自身の軸となる言葉を持って子どもたちに関わることが、今こそ求められていると思います。

「子どもは必ず成長し発達していく」、は不変の事実です。また、「無理はさせない、でも背伸びはさせよう」の言葉を私は大切にしています。これはコロナ禍でも変わりません。

どう背伸びを促したらいいのか悩むとき、発達が見えづらくて辛いとき、一緒に考えましょう。子どもたちを支えるのは、保護者の皆さまだけではありません。ひまわりも、温かく力強い支援の手のひとつです。

心理職ボランティア 公認心理師 千賀玲子

鈴虫販売のお知らせ

ひまわりで子供たちと一緒に秋の虫を育てました。
会員以外の方へもお求めやすい価格にて販売しております。
秋の夜長、お子様と一緒に鈴虫の音をお楽しみください。



鈴虫

●お申し込み方法

ご希望の方は、渡辺(090-9201-3992)までお気軽にお問い合わせください

●詳細

①お引き渡し期間 8月1日から30日(売り切れ次第終了)

②お引渡し場所 ひまわり校舎

(生き物のため、配送は致しかねます)

③秋の虫価格

鈴虫 3ペア 300円(虫かごご希望の方+110円)

※収益は、ひまわりの運営資金になります。



★ひまわりは、7月1日より感染症対策を行い、変則的ではありますが開校致しております。
ご質問・見学ご希望の方は、渡辺(090-9201-3992)までお気軽にお問い合わせください。
最新情報はホームページ <http://himawari-school.jp/> と Facebook にてアップデートしています。